

アーカイブズ

# ARCHIVES

— 沖縄県公文書館だより 第61号 2021年8月1日発行 —



## CIVIL ADMINISTRATION OF THE RYUKYU ISLANDS

REPORT FOR PERIOD 1 JULY 1962 TO 30 JUNE 1963

VOL XI

(RCS CSCAMG - 5)

HIGH COMMISSIONER OF THE RYUKYU ISLANDS

“Civil Administration of the Ryukyu Islands” Vol. 11, 1963 [0000025297]

琉球列島米国民政府（USCAR）民事報告書。沖縄の政治、社会、経済の実態とUSCARの施策を米国民に周知することを主眼とした報告書です。1962年（昭和37）7月から1963年（昭和38）6月までの施策を網羅した第11号は、ポール・W・キャラウェイ高等弁務官が表紙を飾りました。



写真資料 11,481 点公開しました！

ユースカー

# USCAR 広報局写真資料

沖縄県公文書館ではこれまで、沖縄戦中および米国統治時代に米国政府機関が撮影した写真資料を多数公開してきました。今回、新たに米国国立公文書館より収集した USCAR 広報局写真資料 11,481 点をインターネットで公開しました。

USCAR は、琉球列島米国民政府 (United States Civil Administration of the Ryukyu Islands) の略で、1950 年 (昭和 25) 12 月に設置され、1972 年 (昭和 47) 5 月の日本復帰まで存続した米国政府の出先機関です。

USCAR 広報局の主な役割は、米国の業績を世界に知らしめ、住民と米国人の相互理解を促すための広報活動を通して沖縄統治の安定化を図ることでした。USCAR によるメディアを通じた広報活動の中には、ラジオやテレビ放送のほか『今日の琉球』や『守礼の光』など広報誌の発行がありました。写真はこれら発行誌だけでなく、プレスリリースや壁新聞等広く活用されていました。

写真資料には USCAR の果たした様々な功績が記録される一方、米軍基地の弊害等は一切含まれません。これらの写真から当時の情報政策がどのようなものだったかを垣間見ることができます。

## 琉米文化会館



広報局の活動を視察するため那覇琉米文化会館を訪れたフィアラー民政官 1969 年 (昭和 44) 9 月 3 日 [写真番号 260CR-29\_0074-02]

琉米文化会館は、USCAR 広報局に属し、「琉米文化の交流と沖縄住民の教養を高めるため」に設立されました。各文化会館や移動映画会で上映する映画は東京の米国情報局 (USIS) より配給されました。また、文化会館には図書館のほかに様々なイベントが行えるホールが設置され、幼児から中高生、主婦、働く女性などを対象としたプログラムが実施されました。

## 宣撫工作



メーデー [琉米親善ロデオショー] 1954 年 (昭和 29) 5 月 1 日 [写真番号 260CR-39\_0073-01]

USCAR は、1954 年 (昭和 29) 4 月 24 日、「5 月 1 日は共産党員のカール・マルクスの誕生日で共産党員ではない人々は会合に参加するべきではない」と発表し、ラジオ・新聞に報道させました。5 月 1 日は、毎年、国際的な労働者の祭典「メーデー」が行われる日です。USCAR は、メーデー当日、集会を妨害する目的で琉米親善ロデオショーを警察本部裏の広場で開催しました。

## 英語教育



語学学習室での言語実習 1964 年 (昭和 39) 5 月 15 日 [写真番号 260CR-43\_0426-01]

1964 年 (昭和 39) 5 月 15 日に首里に開所した英語センターの様子。コンソール (写真右側前方) を操作しているのはアメリカで教育を受けた講師。各ブースに座っている学生は、コンソールを通してマスターテープから模範的な発音を聞き、それをまねて発音するとその音は再び録音されるようになっていました。英語センターは首里、宮古、八重山に設置され、USCAR の運営で英語教師や、小学生から社会人まで様々な人に広く利用されていました。

# あんやたんアメリカ世

\* 「あんやたん」とは、沖縄の方言で「あんなだった」、「アメリカ世」とは「米国統治時代」という意味。

## ボーイスカウト派遣



琉米ボーイスカウト 16 名の家族及び支援者が嘉手納飛行場でのボーイスカウト見送り式に参列 1964 年 (昭和 39) 7 月 1 日 [写真番号 260CR-06\_0611-01]

4 年ごとに催される全米ジャンボリーに参加する米国人と沖縄人で構成された琉米ボーイスカウト 16 名の様子。大会への参加だけでなく、ニューヨーク万国博覧会や米国の名所旧跡を訪問しました。高等弁務官府が往復の軍用機を準備し、旅費は琉米の各団体や米国のボーイスカウト団体が支給しました。

## 学校給食



学校給食計画 1971 年 (昭和 46) 10 月 21 日 [写真番号 260CR-02\_0015-04]

安謝小学校の 3 年生が昼食を取っている様子。米公法 480 号「自由のための食糧計画」に基づき、沖縄では、学校、困窮世帯及び福祉施設に対して食糧援助が行われました。戦後の給食は、1953 年 (昭和 28) に開始され、米国から援助された食糧は小・中・定時制高校の学校給食計画対象校に送られました。

## 琉米親善



「民間親善計画」で交流中の米海軍第 4 哨戒中隊 1959 年 (昭和 34) 10 月 23 日 [写真番号 260CR-39\_0506-01]

1956 年 (昭和 31) 9 月 11 日、アイゼンハワー大統領は、「民間親善計画」を発表しました。この計画に基づき、米海軍第 4 哨戒中隊は、奥武島の人々と 1959 年 (昭和 34) 頃から 3 年近い交流を続けました。中隊は漁船用水路を建設したほか、奥武島が台風の被害を受けた際には、医療班を派遣し、隊員たちは家財を修理するなど様々な援助を行いました。

これに対し、奥武島の住民は中隊を海神祭に招待するなど友好的な交流がうまれました。1964 年 (昭和 39) には、永久の友情を記念する碑が奥武集落の入口に建立されました。

## 関連企画

復帰 50 周年連続企画 過去は未来の道しるべ Part1

高等弁 民主主義のショーウィンドー

アメリカ統治の光と影

7/30 [金] - 12/28 [火]

沖縄県公文書館展示室 入場無料

B52 CARB AWAY



シリーズ

# 記録をつくる 記録をのこす

沖縄県では、毎年6月から9月にかけて「文書クリーン作戦」を行います。

そのねらいは、文書管理の適正化及び、快適な執務環境の確保並びに公務能率向上を図ることです。その流れを県知事部局を例にかいつまんでご紹介します。

クリーン作戦では、各課が業務での役割を終えた公文書等を保存期間と文書分類毎に保存箱に収め、総務部総務私学課に引継ぎます。これらの公文書等は、県庁地下1階の文書保存管理室で保存期間満了まで集中管理されます。

公文書等の保存期間が満了すると、総務私学課長は、所管課長と協議の上、出勤簿など日常業務で発生する軽易な文書を除いた公文書等を公文書館に引渡す準備をします。これを「一次選別」といいます。

その後、公文書館職員が、文書保存管理室で引渡しリストと文書保存箱との照合、再確認を行います。2020年度は、一次選別の結果、保存期間が満了した公文書等3,041箱の中から2,595箱（書架延長にして566m分）が選別され、公文書館に引渡さ

## 第1回：文書クリーン作戦



▼公文書館に引渡す文書保存箱に印を付ける

▲沖縄県庁地下1階文書保存管理室

れました。公文書館では、その中から歴史資料として重要なものを選ぶ「二次選別」を行います。

このように公文書館では限られた書庫スペースを考慮しながら、体系的な視点で収集すべき公文書等を選別し、県民共有の財産として保存していきます。クリーン作戦は、その重要なミッションの一翼を担っているのです。



(公財) 沖縄県文化振興会常務理事兼  
沖縄県公文書館館長  
宜野座 葵

## 館長就任にあたって

ない理由だろうと思います。

しかし、残念ながら、近世、近代の資料の多くは、沖縄戦で灰燼に帰してしまいました。だからこそ私たちは、残されている記録を大切に守り抜いていかなければなりません。それが公文書館に課せられた使命です。

ところで、昨今、「森友学園問題」をはじめとする政府による不適切な公文書管理の実態が明るみになりました。また、沖縄県でも新型コロナウイルス感染症対策本部会議の議事録や普天間飛行場移設問題にかかる国とのやり取りの記録が残されていないことが報道されるなど、今、わが国の公文書管理のあり方そのものが問われています。これは、当館にとっても他人事ではありません。

私は、公文書管理法に謳われた「現在及び将来の国民に説明する責務」の意味をかみしめながら、当館が「行政の記録センター」としての役割を果たしていけるよう、微力ながら尽力して参りたいと思います。今後とも公文書館事業に対する皆様のご理解とご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

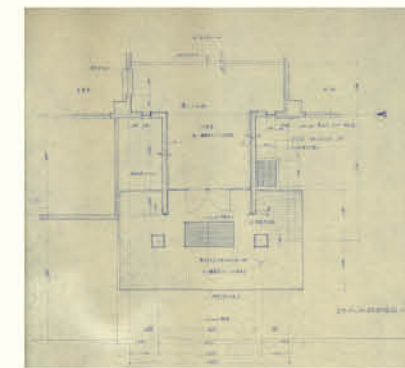
2021年6月30日付けで館長に就任しました。当館は、2021年8月1日に開館26年を迎えました。1995年に開館以来、これまで地元沖縄だけではなく、日本本土、北米、ヨーロッパ、中国、台湾、韓国など、世界中から多くの方々にご来館いただいております。その理由は沖縄の歴史にあります。

沖縄はかつて中国との冊封関係の下、200年もの間、独立国としてアジア諸国との交流で繁栄しました。そして、その後の400年間は、薩摩侵攻、琉球処分、沖縄戦、アメリカ統治、日本復帰と波乱万丈の歴史を歩んできました。その歩みこそが世界中の研究者を惹きつけてやま

## 公共工事等の発注及び施工の監督・検査に関する文書

### 新規 公開資料

沖縄県文書の中から、県が発注した公共工事等に関する文書や完成図書などが含まれる資料を紹介します。



▲沖縄県立宮古病院新築工事設計図 本館エントランス  
1975年(昭和50)1月建築 [0000195529]

沖縄県立宮古病院は、1950年(昭和25)に宮古民政府立結核療養所として開設されました。その後、1960年(昭和35)に琉球政府立宮古病院となり、1972年(昭和47)の日本復帰により沖縄県立宮古病院と改称され、現在も宮古圏域の医療を支える拠点となっています。

本資料は1977年(昭和52)に竣工した県立宮古病院本館の設計図面です。なお、宮古病院は2013年(平成25)に旧県立宮古農林高等学校運動場跡地に新築移転しました。



「全国身体障がい者スポーツ大会」は、1964年(昭和39)の東京パラリンピックの成功を受け、1965年(昭和40)に身体障がい者スポーツの振興と身体障がいへの国民の理解を深めることを目的に創設されました。沖縄県においては、1987年(昭和62)、海邦国体にあわせて第23回全国身体障がい者スポーツ大会(愛称・かりゆし大会)が開催されました。本資料は、大会の愛称やスローガンのデザイン画です。かりゆし大会は「翔べフェニックス 紺碧の空に」をスローガンに、同年11月14日・15日の2日間にわたって開催され、1,957人の選手が参加しました。

◀第23回全国身体障がい者スポーツ大会(かりゆし大会) 愛称・スローガン 基本ロゴ・色彩計画 [0000195530]

当館の管理業務は、指定管理者である公益財団法人沖縄県文化振興会が実施しています。2020年度指定管理事業の概略をお知らせします。

### 収集業務

沖縄県文書(沖縄県の機関が作成・收受し保存期間が満了した文書等)を3,818箱、行政刊行物を652冊、その他個人や団体から920点の文書等を収集しました。

### 評価選別業務

収集した文書等を評価し、歴史資料として重要なものを選別しました。そのうち沖縄県文書は、5,238箱を評価選別しました。その内訳は、保存1,537箱、一部保存744箱、廃棄2,957箱となりました。

### 整理業務

選別して「保存」と決定した文書等のうち、沖縄県文書及び行政刊行物3,118冊、沖縄占領関係写真465点、沖縄関係資料9冊を整理して公開しました。また、原本の劣化防止用に作成した代替物6,530点の目録を整備して利用に供しました。

### 保存業務

低酸素濃度処理による殺虫処理、簡易補修・綴じ直し等の作業131件を実施しました。予防対策として4号書庫の特別清掃を実施しました。また、長期保存・防災・収納効率の観点から書庫内の所蔵資料収納状況を調査点検し、マニュアルを作成しました。

### 代替化業務

原資料の劣化予防対策として、紙資料(琉球政府文書)15点[計5,046コマ]、映像資料2点、音声資料35点のデジタル化を行いました。

### 閲覧・普及広報業務

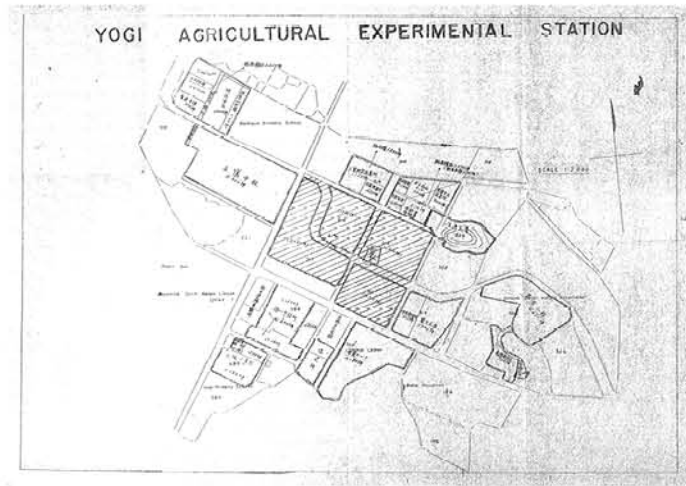
新型コロナウイルスの影響による外出自粛や臨時休館により例年より入館者数が減少しました。入館者は6,313人、常設展の入室者は4,061人でした。また、集客イベントはすべて中止となりましたが、資料保存講習会は、講習内容のあらましを動画撮影し、当館ホームページで配信しました。

令和2年度  
公文書館事業報告



# シマめぐッ 沖縄 No.15 那覇市

2021年(令和3)5月20日、那覇市は市制100周年を迎えました。市制開始当時の人口は約54,000人、現在は318,848人(2021年5月末時点)と増加し、経済・観光・文化の中心地として発展しました。当館が所蔵する那覇市に関連する資料をご紹介します。



## 与儀公園

1961年(昭和36)、那覇市与儀にあった中央農業研究指導所(現・沖縄県農業研究センター)は、周辺地域の急速な都市化の影響もあり、研究施設を充実させるため、首里崎山町に移転しました。その広大な跡地利用として、様々な施設が計画されました。USCAR 法務局の計画図には、上泉(現・泉崎)案と与儀案で建設が審議されていた那覇市役所や、農連市場の拡張、与儀中学校(現・神原中学校)などが反映されています。また「主席公舎」は、現在の知事公舎と同じ場所に居を構えていました。公園部分は、当初15.21haの大規模都市公園の開園が計画されていましたが、那覇市民会館の建設、琉米文化会館の移転などともない、2.80haまで縮小し、1970年(昭和45)4月11日、与儀公園として開園しました。

## 遊園地「新世界」

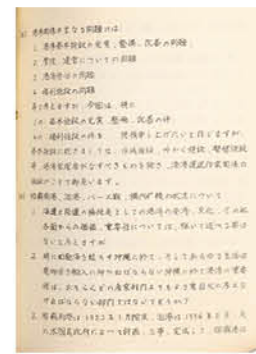
1951年(昭和26)9月22日に那覇市楚辺に遊園地「新世界」が開園しました。沖縄文化興行株式会社が500万円の工事費を投じ、模型飛行機をはじめ小型自動車、蓄電池式の豆自動車、メリーゴーランド、ローラースケート場、劇場、売店、食堂などを備えました。



開園当日は子どもの無料散髪や映画上映などイベントにあふれ、開園時間の午前9時から午後10時まで多くの人で賑わいました。

1961年(昭和36)頃、経営悪化のために閉園、土地は那覇市に売却され、跡地は城岳公園として整備されました。

## 那覇港



1966年(昭和41)、沖縄海運協会は日本政府総務長官に対して、那覇の港の基本施設・設備の改善、新港の築港などを陳情しました。那覇港と泊港は、USCARが計画、着工し、那覇港は琉球政府に、泊港は那覇市にそれぞれ譲渡されました。築港時の両港の合計収容能力は124万トンでしたが、1965年(昭和40)の取扱量は281万トンと倍増しました。貨物量が増えても、港湾内の保管施設の不足や特殊クレーンの未設置により、非効率な作業が続いていました。陳情後、那覇市は安謝の新港開発計画を進め、1971年(昭和46)に那覇新港の供用を開始しました。1972年(昭和47)の本土復帰に伴い、那覇港、泊港、那覇新港は一元化され、「那覇港」となりました。現在は、沖縄県、那覇市、浦添市が共同管理する体制に移行しています。

# アーキビスト 専門員インタビュー NO.1



新城 邦朝  
(公財) 沖縄県文化振興会  
公文書専門員 保存修復担当

## 師の教え

私は、不思議な縁で歴史資料保存の道に入り20年が経ちました。そのキャリアの多くの時間を歴史資料、特に古文書や絵図といった紙文化財の高品質デジタル画像制作に携わってきました。今回は、私の修業時代の失敗を通して形成した歴史資料に接する心構えについて書いてみたいと思います。

多くの皆さんも、師と仰ぐ人物をお持ちだと思います。私にもそういう人物がおり、その「師」は、私にデジタル画像技術者として歴史資料に接する心構えを、技術者が陥りやすい心理状態を悪魔に例え、悪魔を退治する呪文とともに訓えてくださいました。

どんな技術でも、単調な作業を何度も繰り返す、長い時間をかけて行うことで身に付くものだと思います。歴史資料のデジタル撮影技術も同様で、古文書を一頁一頁丁寧に、情報の欠落無く撮影することで身に付き、その行為を継続することで熟練の域に達します。しかし、技術が熟練の域に達するという喜ぶべき時に必ず現れるものが「惰性」という悪魔だと「師」はおっしゃいました。私の中にも「惰

性で作業を行う心」という悪魔が現れました。

撮影作業に慣れず未熟な頃は、恐る恐るページをめくり、過剰なくらいページの開き具合を調整するので悪魔の出る隙はありません。しかし、慣熟というものは怖いもので次第にページめくりや調整も雑になり、歴史資料を扱っているという緊張感さえも薄れます。まさに悪魔が現れた瞬間です。結果、高品質画像データと呼ぶには程遠い低品質な画像データが出来上がります。そして、「師」から大目玉を食らうのです。この大目玉は、いつしか私の心に潜む悪魔退治の呪文となり、歴史資料に接する時の心構えとなって心に刻み込まれました。

「師」はこうおっしゃいました「歴史資料を“モノ”として扱うな、畏敬の念を持って扱え。高品質の画像データを作るには、コピー機でコピーを取る感覚でデジタル化してはダメだ！資料をよく観察し、より丁寧に、撮影にもっと工夫を！」と。私は、この呪文を今日も、明日も、明後日も唱えながらゴールのない歴史資料保存の道を初心を忘れず歩み続けます。

## フラッシュニュース 公文書の公的資格 認証アーキビスト 資格習得！

一般に図書館には「司書」、博物館には「学芸員」という専門職が置かれていますが、公文書館の専門職にはこれまで資格制度がありませんでした。

そこで国は、公文書管理を担う専門職員の養成について検討を始め、2018年12月、必要とされる知識や技能を具体的に規定した「職務基準書」を作成しました。今回はその基準に基づいて、専門的な教育を受け、かつ一定の実務経験を積んだ者を「アーキビスト」として認証したものです。初年度の2020年度は全国で190人が認証され、県内からは県公文書館指定管理者所属の5人を含む7人が認証されました。国は2026年度までに約1,000人を認証する方針です。

認証制度が進んだ背景には、「森友学園問題」をはじめとする政府による不適切な公文書管理の実態が明るみにな

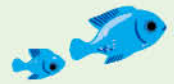
り、公文書管理の適正化に向けて専門的知識や技能を持つ人財の必要性が認識されたこともあります。認証アーキビストの果たすべき役割はますます大きくなっていくことでしょう。

認証について報告を受けた玉城デニー知事は「県庁の公文書の保存公開にも、さまざまな意見を頂いている。私たちの考え方としても早期に確立していきたい」とした上で、認証アーキビストのさらなる活躍に期待を示しました。



玉城知事表敬訪問 沖縄県庁(2021年3月23日)





WEB版

児童・生徒のための沖縄県公文書館ガイド

# みんなの公文書館 刊行!



—児童・生徒のための沖縄県公文書館ガイド—

## みんなの公文書館

どんなところ? 何ができるの?

目次

1. 公文書館ってなんのためにあるの?
2. どんなことができるの?
3. どんなお仕事をしているの?
4. 公文書館の資料が見てみたい!
5. 家や学校のパソコンから資料を見てみよう!
6. 公文書館基本情報

僕はシーラーのレキシー!  
いっしょに中をのぞいてみよう!

児童・生徒のための沖縄県公文書館ガイドブック『みんなの公文書館 どのところ? 何ができるの?』を発行しました。公文書館の役割や利用方法、当館所蔵資料の紹介、当館HPでの資料調査方法などを分かりやすくまとめています。大人が読んででも発見がたくさんある1冊。ぜひ親子で読んでいただきたいと思います!

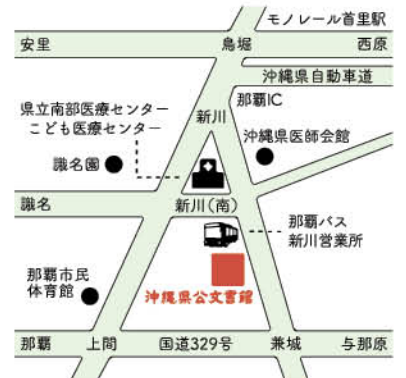


冊子の中をちょっとだけお見せしちゃいます!



## 利用案内

時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、6月23日(慰霊の日)
利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館は無料です。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、<b>閲覧室の利用は事前予約制</b>です。詳細は当館ホームページをご覧ください。 予約TEL: 098-888-3871</li> <li>展示室は予約不要です。</li> <li>書庫内資料の閲覧には「利用証」が必要です。「利用証」発行には、住所が確認できる身分証明書をお持ちください。</li> </ul>
交通案内	<p>那覇バス 1、2、3、4、5、14、15、16番 「新川営業所」下車徒歩3分          東陽バス 191番「県立南部医療センター前」下車徒歩10分          高速バス 111、117番「県立医療センター前」下車徒歩10分          駐車スペースに限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。</p>
ホームページ	<a href="https://www.archives.pref.okinawa.jp/">https://www.archives.pref.okinawa.jp/</a>



来館前に、体温測定 マスクの着用 人とはなれる 手洗い のご協力をお願いします。

